

メディカルタウン構想（海老川上流地区開発）に関する 市長あての要望の実現を求める陳情書

【願意】

2月7日、市長にメディカルタウン構想の問題点を記した意見書を出しました。
その中にある以下の要望を実現するように求めて下さい。

1. なぜ今のように海老川上流地区の工事が止まる事態になったのか、最低でも2022年3月の事業認可当時からの経緯を精査し、問題点と原因を明らかにし、改善策を作ってください。
2. 工事を再開する前に、1をふくめ、メディカルタウン構想が今どのような状況で、今後どのように事業や工事を進めていくのか、説明会や広報ふなばしなどで広く市民に周知してください。また市民の意見を聞いてください。
3. 助成金のチェック体制を改めてください。申請は工法が決まってから行わせること、完了実績報告時は申請書類と工法、単価、数量、金額などを比較し、適正であるか調べること。官積算より、実際に行われた工事に基いてチェックすること。またそのための人員配置を手厚くして職員の負担を軽減してください。

【理由】

当会と市民技術者たちは、2024年6月から調整池工事について調査をしてきました。シンプルに「あんな軟弱地盤に、どうやって深さ4mの池を掘るのだろう」という疑問が出発点でした。

市民は■■■■を除き、土木や河川、建築などのスペシャリストで、情報公開請

求した膨大な文書（図面、構造計算書、協議記録、助成金申請書類、完了実績報告書など）を分析し、現地調査を行い、市に質問を重ねました。

その結果、大雨時には念田川から溢れた水が調整池に流れ込み、県規定の水量を溜められないこと、フジタが考えた液状化対策では不十分であることを明らかにしました。都市政策課と下水道河川管理などに改善を求めたところ、課の課長の英断により工事が止まり、現在フジタに雨水排水の全体計画などを作らせていると聞きました。

また調査の過程で、造成工事や助成金の支払いにも大きな問題があることがわかりました。具体的にどのような問題があるのかは市長あての意見書に書きましたので、この陳情の根拠としてぜひお読みください。

当会と市民技術者たちは、メディカルタウン構想（海老川上流地区開発）という事業は安全対策も助成金のチェックも適正になされていないと判断しました。フジタは市の催促にもかかわらず必要な手続きをせず、工事を強行してきたこともわかりました。

しかしこのような状態を招いたのは、2年もの間それを許してきた市にも大きな責任があります。そこが改善されなければ同じことが繰り返されます。

そのため市長に上記 3 つの要望を出しました。たくさんの市民が、今なぜ工事が止まっているのか、メディカルタウン構想はどうなるのか、税金はいくらかかるのか、知りたく思っています。ぜひその説明責任を市に果たしてもらってください。また今のような、不正が起きかねない助成金の払い方を改めさせてください。

よろしくお願いいたします。

添付資料／メディカルタウン構想（海老川上流地区開発）に関する意見と要望